

認知症イノベーションアライアンスWGの報告

2026年3月5日

WG座長 岩坪 威

当事者参画型開発の取組の目的

- 認知症の人が企業の開発プロセスに「参画」し、企業とともに新しい価値を生み出す「共創」を行う「当事者参画型開発（=オレンジイノベーション・プロジェクト）」を推進。
- 本取組の目的は、共生社会の実現に資する質の高いソリューションが創出される仕組みの構築。

当事者参画型開発の取組み



本取組における「当事者参画」、「参画」、「開発」の定義・考え方

- 「製品やサービスに対するニーズをもつ **認知症の人自身が、協力の意思を持って**、それらの製品・サービスの開発プロセス（企画、実施、評価等）に『参画』すること」と定義する。
- 認知症の人の主体的な協力意思を伴わない、一方的な観察や意見聴取は「当事者参画」とは言えない。**
- 「認知症の人のニーズを反映した製品・サービス」であること条件として、認知症の人の意見が製品・サービスの「コアあるいはそれに近い部分」への反映を意図したものである必要がある。
- ここでの「**開発**」は**新しい製品・サービスの創出だけでなく、既存の製品・サービスを認知症の人の意見をもとに改良することも含む。**

本年度（2025年度）の企業・団体等の参画状況

- 本プロジェクトは、2020年度に検討を開始し、認知症の人とともに生活課題の解決ややりたいことの実現に資する製品・サービスの開発に取り組む企業・団体を対象とした開発の支援を継続的に実施。
- 今年度は、**58の企業・団体を採択**した（2020～22年度：5社⇒2023年度：20社⇒2024年度：46社）。

※外部有識者からなる審査会（非公開）において採択可否を検討

令和7年度 オレンジイノベーション・プロジェクト 実践企業・団体（58企業・団体）



各社が開発している製品・サービスの事例：継続企業

株式会社コスモテック

- いつでもどこでもメモができ、自然に目に入って思い出せる、手首に巻きつける“身につけるメモ帳”「wemo」

No.2 身につけるメモ

日常生活のなか、記憶することに
困難を感じている方へ

「wemo(ウェモ) ウェアラブルメモ」の体験会を実施します

いつでも どこでも メモができ、自然に目にはいつても
失念せず思い出せるので、
記憶することに対する困難を解消します。



wemoの3つの特徴



身につけるメモ帳です

腕に巻いて、いつでもどこでも使用できるメモ「ウェアラブルメモ」です。



何度も書いて、消せます

油性ボールペンで書いて、水に濡れても消えず消しゴムやアルコール、指で消すことができます。



いつでも、どこでも、書ける、思い出せる

いつでもメモでき、内容を忘れても自然に目に入ることで、すぐに思い出せます。

株式会社さくらほりきり

- 誰もが簡単に完成度の高い作品が作れる手作りキットと、好きな時に見られる作り方の動画サービス

No.3 動画を見ながら作るクラフトキット

人生の夢中をともにつくる

【オンデマンドくらふと】
「動画を見ながらクラフトキットを作る」
モニターを募集します

一人でも、施設・団体皆さままで作ってもOK！

「バラのしおり」を作っていただきます。
動画を見てその通りに進めていけば
15分程度で完成します！



サイズ：9×6cm

動画へのご意見をお聞かせください。



心と手づくり体験

オンデマンドくらふとでは、季節の情景や
彩り豊かなクラフトキットを作ります。



自分のペースでできる

動画を止めたり、見直したりし
てマイペースに進められます。



マンツーマンのような内容

音声・字幕付き。一緒に完成する感覚で
すべての工程を丁寧にフォローします。

一般社団法人日本介護美容セラピスト協会

- どなたでも、いくつになっても、使いやすい・続けやすい高保湿スキンケア「momote(モモテ)」

No.9 スキンケア品

普段からスキンケアをされている方
したいけど難しいと感じる方も

敏感肌対応の高保湿スキンケア品の使用体験

どなたでも使いやすい、いくつになっても続けられる
敏感肌対応の高保湿スキンケアを開発しました

実際にご使用いただき
皆様の意見をお聞かせください



誰でも簡単に使えることを最優先に

使いやすいポンプやキャップタイプでかんたん。
珍しい泡タイプの化粧水で、飛び散らずに安心です。



乾燥しがちな肌に潤いを与えます

セラミド*1や尿素*2など、肌に潤いを与える成分を贅
沢に配合。乾燥しがちな肌に潤いを与えます。



お子さまからご高齢の方まで使用できます

繊細な肌の事を考えて開発しました。お子さまからご高齢の
方まで、ご家族全員で使用できる事ができます。

*1グルコシルセラミド(保湿成分) *2保湿成分

各社が開発している製品・サービスの事例：新規参画企業

株式会社kittoi

- 車いすユーザーが開発した誰でも着やすく、動きやすい割烹着

No.15 車いすユーザーが開発した誰でも着やすく、動きやすい割烹着

着脱や動作を行うことに難しさを感じている、
快適に日常の家事を楽しみたい方へ

私たちの商品を使って、お声を聞かせてください



障がいの有無に関わらず、誰にでも着やすく、動きやすい割烹着です。



「かぶるだけ」のワンステップで着脱ができます。衣類の着脱が難しい方や、手の不自由な方にもおすすめです。



タオルかけが付いているので、タオルを探す必要がなく、いつでも手を清潔に保てます。



袖は撥水、防汚素材なので、少し濡れても中に染み込みづらく、また汚れも落ちやすくなります。



背面は大きく開いているので、座っても首が苦しくなりません。後ろのゴムも目立つ色なので、前後が分かりやすくなっています。



ポケットが全面に大きく設置されているので、忘れ物を防ぎます。



座った時にも膝までカバーされるので、全身の汚れを防ぎます。

GROOVE X株式会社

- お世話をすることで日常の楽しさを増やし、ゆるい見守りも可能な家族型ロボット「LOVOT[らぼっと]」

No.16 ペットのようにだんだん家族になるロボット

ペットを飼いたい方と
ゆるやかに見守る手を増やしたい
ご家族の方へ

お世話をすることで日常の楽しさを増やし、
ゆるい見守りも可能なロボットが生活に癒しを提供します



■LOVOT[らぼっと]とは
LOVOTは優しくしてくれた人に懐き、
ペットのようにだんだん家族になる
ロボットです。

■LOVOTとの暮らし
LOVOTは無でられたり、優しく話しかけられるのが好きです。たくさん可愛がってください。



■ゆるい見守り
LOVOTとふれあった記録が残る「ダイアリー機能」や「カメラ映像機能」で、離れていてもゆるやかに見守ることができます。

丸光産業株式会社

- 「じぶんケア」を第一とした、縫製と介護のかけあわせで生まれた新しいトータル介護ブランド

No.24 トータル介護ブランド

日常生活で「あったらいいな」と思う商品がある方
または
熱中症対策を考えている方へ

みなさんの「あったらいいな」を
次々形にしていくブランド「ごじあい」を展開しています
商品・サービス等をご一緒に考えてくれる方を募集します

「ごじあい」ブランド

各種健康用品を、70年に渡って製造してきた丸光産業。在宅介護事業を介護保険制度前から行なっているのが丸光ケアサービスです。今後、介護は、自分事として当たり前になっていく時代。「じぶんケア」を第一に、現場の声を形へしたい。弊社は、「より良く生きる」ことを大切に、日常生活での困り事等にも対応したいと考えています。

「あったらいいな」を形にしていきます

みなさんの、「声」と「想い」に応える「商品」「サービス」をみなさんと共に、1つずつ「形」にしていきます。そのため、ホームページでも皆さまの声を集めています。

商品化第1弾 「たがいにぐっすり眠れるシーツ」

現在の主力商品はまだ1つ。実際に現場からのご意見をもとに製品化しました。「朝までぐっすりと眠りたい」。シーツを敷く人、そこで寝る人の共通の願い。おたがいの不安やストレスを減らすため、防水加工。新しい朝を楽しみに待てますようお願いを込めて。

商品化第2弾 「フローズンネックリング」

近年、異常な暑さが続き、「熱中症」予防対策が注目。・何度でも繰り返し使え経済的。・「28℃以下の環境」で自然に凍結。・時間が経っても結露せず、水滴で洋服は濡れません。水道水や氷水に浸けたり、冷蔵庫や冷凍庫へ入れることで、ヒンヤリ冷感を実現。今後は、交換時期が分かるよう色に変化する仕掛け（視認性の確保）製品を検討中。

パートナー団体の拡大 認知症の人等の参画状況

- 日本認知症本人WG、認知症の人と家族の会、厚生労働省と連携し、開発に参画する認知症の人の募集にご協力いただくパートナー団体（自治体、介護事業者、医療機関、当事者団体）等の拡大に向けた取組を実施。
- 令和6年度以降、**認知症の人641名、家族・支援者等385名の計1,026名**が開発活動に参画。

※令和6年4月から令和8年1月末時点までの実績値、延べ人数

近畿
認知症の人188名
家族・支援者等57名

- 自治体**
- 京都府
 - 兵庫県太子町
 - 三重県四日市市
- 介護事業者**
- 特別養護老人ホーム 六甲の館
 - 北区在宅デイサービスセンター かみやま倶楽部
 - 有限会社アルサ会 おもいで郷
- 医療機関**
- 京都府こころのケアセンター
若年性認知症支援チームおれんじブリッジ
 - 社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会千里病院
- 当事者団体等**
- 地域共生開発機構 ともつく
 - レイの会
 - NPO法人認知症の人とみんなのサポートセンター
 - ひょうご認知症希望大使活動パートナー
 - 特定非営利活動法人四日市Dサポート
 - 若年性認知症本人交流会おれんじサロンひと・まち
(社会福祉法人京都市社会福祉協議会 京都市長寿すこやかセンター運営)

北陸・東北
認知症の人31名
家族・支援者等15名

- 自治体**
- 山形県天童市
 - 新潟県三条市
- 介護事業者**
- 福井県民生活協同組合（福井市5拠点）
- 当事者団体等**
- NPO法人ニット

中国
認知症の人39名
家族・支援者等18名

- 自治体**
- 鳥取県鳥取市

九州
認知症の人28名
家族・支援者等24名

- 自治体**
- 福岡県福岡市
 - 福岡県宗像市
 - 大分県
- 介護事業者**
- ケアグループなでしこ
 - 社会福祉法人水光会
しらぬい荘デイサービスセンター

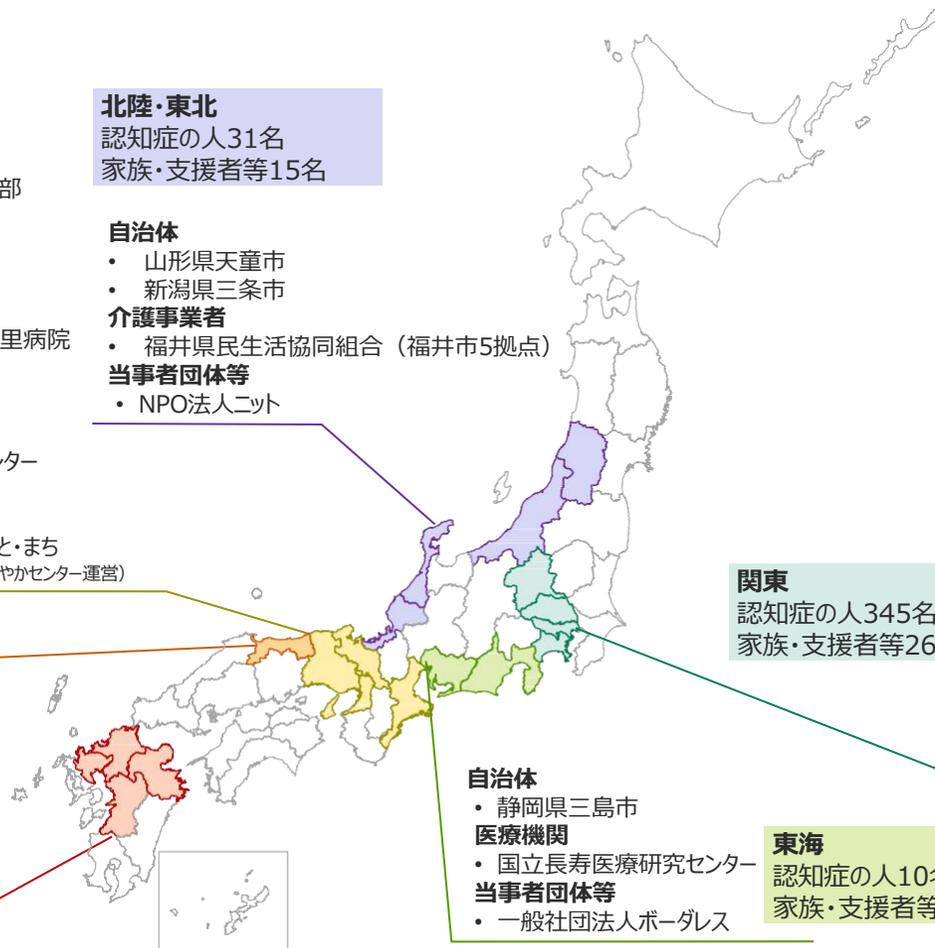
- 当事者団体等**
- JDWG
 - 認知症の人と家族の会

関東
認知症の人345名
家族・支援者等261名

- 自治体**
- 東京都品川区、八王子市、日の出町
 - 埼玉県さいたま市
 - 神奈川県
 - 神奈川県大和市、横須賀市
- 介護事業者**
- 有限会社ハピア オレンジカフェ/ハ
 - 100BLG株式会社
 - NPO法人シニアライフセラピー研究所『亀吉』
 - 社会福祉法人池上長寿園
大田区若年性認知症支援相談窓口
 - 社会福祉法人東京栄和会 なぎさ和楽苑
 - HYS Space
- 障害福祉事業者**
- 社会福祉法人東京コロニー 東京都大田福祉工場
- 医療機関**
- 東京医科大学病院 認知症カフェ「認茶屋」
 - オレンジほっとクリニック
- 当事者団体等**
- NPO法人マイway
 - リンクカフェ
 - さいたま市認知症フレンドリーまちづくりセンター
 - わすれな草の会
 - 一般社団法人ユニオン
 - 一般社団法人Dフレンズ町田
 - ミモザ
(東京都武蔵野市の若年性認知症の仲間と家族の交流会)
 - NPO法人いきいき福祉ネットワークセンター

- 自治体**
- 静岡県三島市
- 医療機関**
- 国立長寿医療研究センター
- 当事者団体等**
- 一般社団法人ボーダレス

東海
認知症の人10名
家族・支援者等10名



オレンジイノベーション・アワード2025 概要

- 本取組の認知拡大に向け、企業や団体等を対象とした表彰（オレンジイノベーション・アワード）を開催。
- 計25件の応募から、受賞企業を決定。2026年2月26日に表彰式を開催。



オレンジイノベーション・アワードの概要

目的	<ul style="list-style-type: none"> • 認知症の人とともに、生活課題解決や、やりたいことの実現の助けとなる製品・サービスの開発が、さまざまな業界・領域にて推進され「当事者参画型開発」の認知が広がり、共生社会が実現されることを目指し、開催するもの。
対象	<ul style="list-style-type: none"> • 製品・サービス部門：認知症の人との共創のプロセスを重視して開発され、<u>すでに販売・提供開始しているユーザーフレンドリーな製品やサービス</u> • アイデア部門：認知症の人との共創のプロセスを重視して開発を行っている最中で、<u>発売・提供開始前の製品・サービスのアイデア</u>
日程	<ul style="list-style-type: none"> • 応募締切：令和7年12月5日、表彰式：令和8年2月26日
審査基準	<ol style="list-style-type: none"> ① 製品・サービスの使いやすさ ② 認知症の人との共創のプロセス
賞の種類	<ul style="list-style-type: none"> • 製品・サービス賞、アイデア賞：各部門において総合得点が最も高い企業 • 特別賞：審査基準①②の合計得点が高い企業 • 本人賞：本人審査委員の総合得点が最も高い企業
応募総数	25件（製品・サービス部門17件、アイデア部門8件）

審査員



国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 所長
岩坪 威



特定非営利活動法人 イシュープラスデザイン 代表
寛 裕介



フリーキャスター・介護福祉士
村村 多恵



株式会社HAKUHODO ITTENI取締役 戦略コンサルティング本部統括
根本 豊



一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ 相談役理事
藤田 和子



慶応義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 教授
堀田 聡子



かながわオレンジ大使（認知症本人大使）
前田 博樹



DAYS BLG! はちおうじ 代表
守谷 卓也



一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ 代表理事
山中 しのぶ



公益社団法人 認知症の人と家族の会 代表理事
和田 誠

オレンジイノベーション・アワード2025 審査結果

- 製品・サービス賞は株式会社大翻、アイデア賞は神奈川県立横須賀高等学校・NTT人間情報研究所が受賞した。特別賞は、株式会社kittoi、ソリッドソニック株式会社、株式会社チヨダ、本人賞は神奈川県立横須賀高等学校・NTT人間情報研究所がそれぞれ受賞した。

製品・サービス賞

株式会社 大翻
迷わず履ける靴下 Unicks (ユニックス)



アイデア賞・本人賞※

神奈川県立横須賀高等学校・
NTT人間情報研究所
認知症にやさしい社会へむけたポジティブすごろく
～認知症当事者の気持ちを知って、みんなで考えよう～



※アイデア賞と本人賞のW受賞

特別賞

株式会社kittoi
みんなにいい割烹着



特別賞

ソリッドソニック株式会社
Vibone nezu 3 (バイボーンネズスリー)



特別賞

株式会社チヨダ
CEDAR CREST スパットシューズ



学生団体と連携した取組の実施

- 当事者参画型プロダクト開発を行っている学生団体（TOM JAPAN）と大阪市内で介護事業を展開する事業者（かみやま倶楽部）と連携し、認知症の人と学生の共創によるプロダクト開発企画を実施中。

かみやま倶楽部との実践

1

【継続実施中】
ボランティア訪問

- ボランティア訪問を月1～2回実施
- 本取組にて開発に参画する認知症の人への個別ヒアリングも実施。

2

【実施済み】
困りごと共有WS

- 個別ヒアリングから抽出された「困りごと」の解決方法を話し合うワークショップを実施予定。
- 参加者は認知症の人10名程度。

3

3Dプリンタによる
プロトタイプ製作・
製品開発

- ②から生まれたアイデアをもとに、3Dプリンタを使用したプロトタイプ製作・製品開発を実施予定。
- 認知症の人とトライアルしながら共創する想定。

みんなでつくる 暮らしのアイデア

目的：日常生活の困りごとや工夫のアイデアを認知症の方と学生で共有する

12月18日(木) 13:30～15:00

13:30 グループ分け・自己紹介
WSの説明

13:45 困りごと：お風呂
・テーマ(困りごと)を説明、既存製品の提示
・グループで類似体験・暮らしの工夫を共有
・プロダクトへの意見・改善点を検討

14:30 全体で共有

14:45 振り返り・まとめ

メインテーマ

困りごと お風呂

シャンプーを使ったか忘れる

お風呂で頭を洗う時にシャンプーやリンスを使うことを忘れることがある。



グループワークの進行

お風呂に関する困りごとについて段階的にテーマを設定
→各テーマごとに時間を区切って意見を聴取する(各テーマ10～15分間)

テーマ①：「シャンプーやリンスを使い忘れる」場合の対処法

- ・シャンプーを使い忘れないようにするには？
- ・使用済みかどうかが分かる方法は？

テーマ②：「1回分ずつに分けられた製品」はどう？

- ・アメニティのような個包装のものは使える？
- ・小さいボトルに詰め替えると使用量が分かりやすい？

テーマ③：「誰でも使いやすいボトル」はどんな形？

- ・上から出るボトルやチューブタイプは使える？
- ・片手でも使えるボトルはどんなもの？

実際に製品を見て
触りながら
アイデアを考える



流通・販売に関する取組の実施

- ・イオンリテール株式会社が開設した「MySCUEマーケットプレイス」において、本プロジェクト参画企業の製品・サービスの周知・販売中。また、本プロジェクトから生まれた製品・サービスの販売に活用可能な「タグ」について1月より各採択企業での利用を正式に開始した。
- ・今後も流通・販売にご協力いただける企業・団体とともに販路開拓を図る予定。

MySCUEマーケットプレイス



・本プロジェクト参画企業の
商品紹介ページヘリンク



オレンジノベーション・プロジェクト
◇認知症当事者とつくった誰もが使いやすい製品・サービス◇

タグ



この商品は「オレンジノベーション・プロジェクト」を通じて高齢者の方々と直接話し合い、日々感じているお悩みや要望を反映し生まれた商品です。



経済産業省は、認知症になってからも自分らしく暮らし続けられる共生社会の実現を目指し、認知症の人が主体的に企業や社会等と関わり、認知症当事者の真のニーズをとらえた製品・サービスの開発を行う「当事者参画型開発」の普及と、その持続的な仕組みの実現に向けた取組を推進しています。



経済産業省 認知症政策
詳細はこちら

※株式会社イトーヨーカ堂の協力のもと作成